



令和5年度 9月号 校長 饗場 宏

上の写真は、左から PTA 奉仕作業、右端は樹木整備の様子です。お陰様で、気持ちよく2学期がスタートできました。

## 「全国学力・学習状況調査」の結果を糸口に 東小学校児童の姿を捉える 地域とともにある東小学校

今号では、4月18日(火)に全国で一斉に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果について報告いたします。この調査は6年生が対象ですが、結果は本校児童全体の傾向として捉えます。調査の内容は、教科に関する調査(国語・算数)と生活習慣や学習環境に関する質問紙調査の2つです。また、調査の目的は、①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。③そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。\*とされています。

それでは、以下に、本校児童による調査結果の概要と今後の取組等についてお知らせします。\*文部科学省 HP

### 教科に関する調査から(県平均・全国平均との比較・見いだされた課題等)

① 本校は、2教科とも、県・全国に比べ高い「平均正答率」でした。

⇒ 家庭学習の充実や不断の授業改善、教育課程の見直し等の成果ともいえます。満足することなく、引き続き、着実な学力の定着を図っていく努力が重要と考えます。

② 授業改善に向けて取り組むべき課題として明らかになったものは、次のとおりです。

(国語) 学習指導要領の3領域(「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」)とも平均正答率は県・全国に比べ高い、もしくは有意差がないものの、「書くこと」にかかわる設問から、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られた。

(算数) 学習指導要領の5領域(「A 数と計算」「B 図形」「C 測定」「D 変化と関係」「E データの活用」)とも平均正答率は県・全国に比べ高い、もしくは有意差がないものの、「図形」にかかわる設問から、高さが具体的に示されていない複数の三角形について、それらの面積の大小を判断するのに必要な情報を見だし、その理由を記述することに課題が見られた。

③ 課題の解消や伸長に向けて重要となる指導は、次のとおりです。

(国語) 「書くこと」に関する課題から、必要に応じて、教師が、図表やグラフなどを用いたモデルとなる文章を提示するなどして、図表やグラフなどを用いると自分にとっても考えを深めやすく、相手にとってもよく理解できる文章になることを実感できるような指導。

(算数) 「図形」に関する課題から、具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるような指導。

⇒ 全学年において、授業改善のための重要なポイントとして取り組んでいきます。

裏面もあります

## 児童質問紙調査から

児童質問紙調査の結果概要は、次のとおりです。

※「当てはまる」度合いを4段階で回答

望ましい状況（県・全国の状況と比較して）	（数字）は質問に付された番号です
(1) 朝食を毎日食べている (2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ている (3) 毎日、同じくらいの時刻に起きている (5) 先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う (6) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思う (8) 人が困っているときは、進んで助けている (9) いじめは、どんな理由があってもいけなないことだと思う (11) 人の役に立つ人間になりたいと思う (12) 学校に行くのは楽しいと思う (13) 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う (14) 友達関係に満足している (15) 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある (24) 読書は好き (26) 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う (27) 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたしてみたいと思う (28) 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思う (30) 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う (33) 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた (34) 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた (35) 5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた (36) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている (37) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている (38) 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている (39) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる (40) 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている (41) 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる (42) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる (43) 国語の勉強は大切 (44) 国語の授業の内容はよくわかる (46) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う (47) 国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいる (48) 国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている (49) 国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている (50) 国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している (52) 算数の勉強は大切だと思う (53) 算数の授業の内容はよく分かる (54) 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う (56) 英語の勉強は大切だと思う	
改善が望ましい状況（県・全国の状況と比較して）	（数字）は質問に付された番号です
(4) 自分には、よいところがあると思う (7) 将来の夢や目標を持っている (10) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる (16) 家では自分で計画を立てて勉強をしている (25) 今住んでいる地域の行事に参加している (32) 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた (43) 国語の勉強は好き (51) 算数の勉強は好き (55) 英語の勉強は好き	

※家庭での行動等についての設問（学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか あなたの家にはどれくらいの本がありますか 地域行事へ参加していますか 地域の図書館に行く回数は など）に関する結果は、生活環境等との関連があり、児童自身の成果や課題と判断することがふさわしくないため、ここでの紹介は省略しました。

## 教科に関する調査と質問紙調査とを関連させた考察

教科に関する調査の結果（平均正答率）と質問紙調査での「改善が望ましい状況」と判断した設問の結果を関連させて分析しました。その結果は、次のとおりです。

- A 「(4) 自分には、よいところがあると思う」「(16) 家では自分で計画を立てて勉強をしている」「(32) 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、…工夫して発表していた」の各設問に肯定的（「当てはまる」「どちらかといえが当てはまる」）に回答した児童は、2教科の正答率が比較的高い傾向にある。
- B 「(7) 将来の夢や目標を持っている」「(10) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」「(43) 国語の勉強は好き」「(51) 算数の勉強は好き」「(55) 英語の勉強は好き」の各設問に否定的（「当てはまらない」）に回答した児童は、2教科の正答率が比較的低い傾向にある。

A・Bのように「改善が望ましい状況」の各項には、学習成果の定着との間に有意な関連性がうかがえました。そこで、「望ましい状況」に示された本校児童のたくさんの良さを土台にし、さらなる教育課程の見直しや授業改善、家庭学習の定着に努めてまいります。また、ご家庭の皆さまとともに、自己肯定感をさらに育む「自分のよさ・可能性・成長をより実感できる」機会の充実を図っていきたいと思います。

この結果を地域やご家庭の皆さまに共有いただき、児童の健やかな成長を期す「地域とともにある学校」を創り上げていきたいと思ひます。本校教育活動への変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。